

佐伯市立 佐伯小学校

学力向上プランの概要

①組織的な授業改善

- ・国語科における付けたい力を明確にし、適切な言語活動を工夫して設定する。
- ・学習計画を作成し、子どもたちに単元の見通しをもたせる。
- ・各種思考ツールを活用した授業の創造。
- ・ペアやグループ学習を取り入れ意見交流を行う授業展開の工夫。

②朝学習の充実と個別指導

- ・毎日、朝学習(ドリル学習など)を行って基礎基本の定着をはかる。
- ・個別指導の時間「放課後寺子屋」を毎週行い、苦手な子どもたちの支援、補充学習を全職員で行う。

③中間ミニテストの実施

- ・国語、算数、理科、社会のなかで、複数単元のテストを行い、基礎基本の定着をはかる。

効果のある取組事例

① 学習規律の徹底

- ・「佐伯小学びの約束」を使っでの指導。家庭への協力依頼。
- ・筆箱の中身の統一。
- ・学期始めに全校集会で周知。

② 国語科における授業改善

- ・単元を貫いた言語活動を位置づけた国語科の授業推進。
- ・子どもたちと共有した学習計画を、教室内に全単元掲示。
- ・各種思考ツールを用いた指導の工夫。
- ・言語活動の成果物を残し、次年度の授業のモデル、改善点をさぐる参考とする。また、他校の言語活動のモデルとして活用。

③ 校内研修による授業改善

- ・国語科の自主公開研究会(平成31年2月15日)を行い、全職員での研修。
- ・水戸部前調査官を招聘(年間3回以上)しての、校内研修。
- ・附属小学校と連携した国語科の研究推進(適時)。

④ 子どもたちの学習意欲を向上させるための工夫

- ・個別指導の時間「放課後寺子屋」を毎週開催。
- ・学校図書館を活用した授業の推進。

佐伯小 学びのやくそく

（授業）

- チャイム（時間）がなったら席にすわる。
- 休み時間に2つのことをすませておく。
 - ・次の勉強の用意をする。（ノート・鉛筆など）
 - ・トイレに行く。
- 授業中、関係ないおしゃべりはしない。
- 授業中、勝手な立ち歩きはしない。
- 授業中、勉強に必要な道具だけ机にだ
- 教科書やノートに落書きをしない。

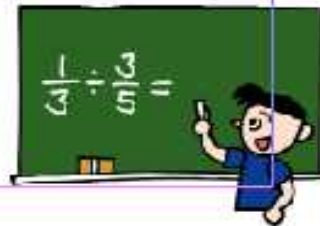


（話す）

- 進んで発表しよう。
 - ・ひじをのばし、手のひらを前に向ける。
 - ・一度だけ「はい」と返事をする。
 - ・人に伝わるように、声の大きさを考えて話す。
- あてられたら「はい」と返事をし、立って話をする。

（聞く）

- 先生や友だちの話を最後まで聞く。
- 自分の考えと比べながら聞く。
- 友だちの意見や考えを、笑ったりバカにしたりしません。



家庭で協力していただきたいこと

6 学年

佐伯小学校

○家庭での学習を始める時刻をお子さんと相談して決めてください。

- ・決まった時刻に机につく習慣をつけさせましょう。
- ・予定（食事や寝る時間・習い事など）に合わせて時刻を考えましょう。
- ・10分×学年＋10分（6年生：70分）を、時間の目安として、学習する習慣をつけさせましょう。

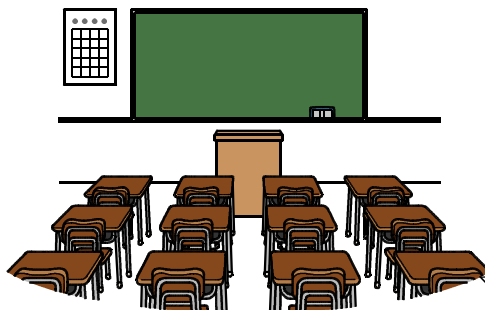
○落ち着いて学習できる環境を作ってあげてください。

- ・勉強するときは、テレビや音楽を消す習慣をつけさせましょう。
- ・机（テーブル）の上を片づけてから勉強を始める習慣をつけさせましょう。
- ・生活リズムを壊さないよう食事や睡眠を十分とれるようにしましょう。



○お子さんの学習に積極的にかかわってあげてください。

- ・ほめることや励ますことを続け、お子さんのがんばりを認めてあげましょう。
- ・お子さんの興味・関心を伸ばしてあげるよう声かけをしていきましょう。
- ・新聞記事やニュースなどについて、一緒に考えたり話したりするのもよいでしょう。
- ・子ども自身にいろいろな体験をさせるよう心がけましょう。
- ・お子さんの持ち物はどうなっているか、時々把握することも大切です。



筆箱の中身

- ・えんぴつ5～6本（けずっておく）
 - ・赤鉛筆または赤ペン 1本
 - ・青鉛筆または青ペン 1本
 - ・消しゴム1個
 - ・じょうぎ
 - ・名前ペン 1本
 - ・蛍光ペン 1本
- 必要なものだけいれましょう
※シャープペンシルについては、作
図の授業のみで使用します。